

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 40 週（2024/9/30～10/6）感染症発生動向調査速報値（2024/10/9 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **109** 人、定点医療機関当たり **2.32** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

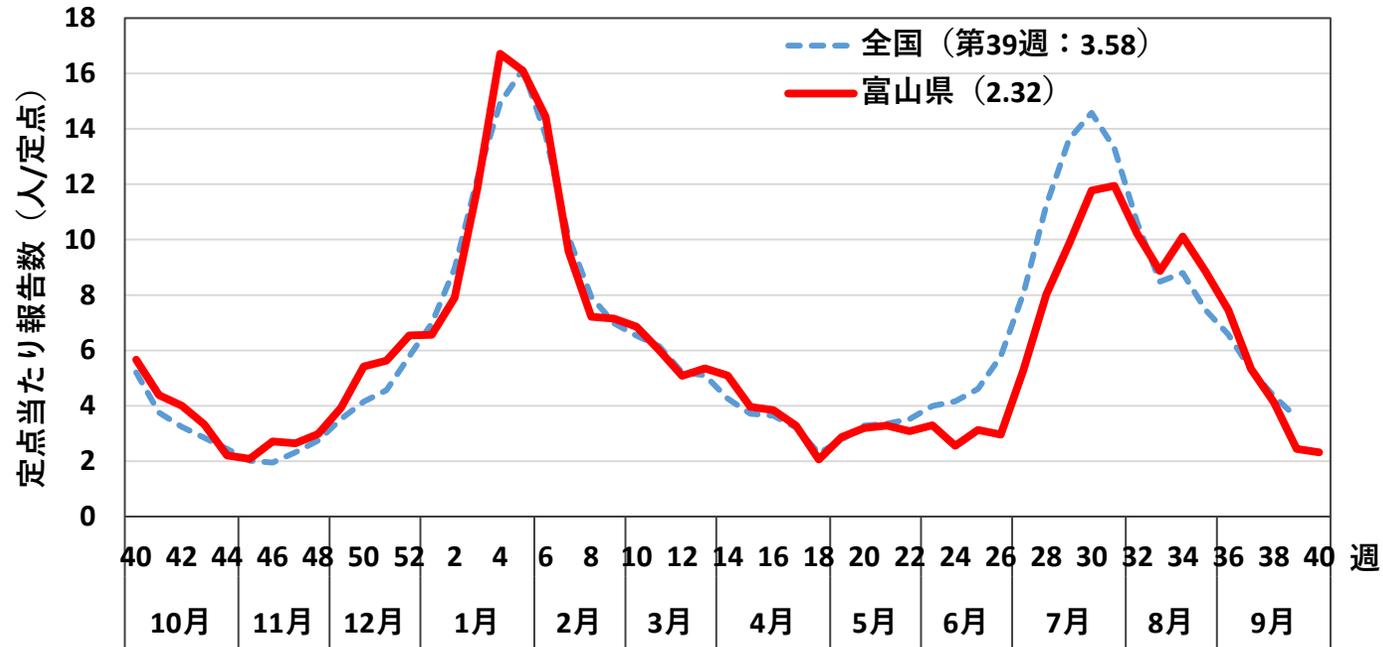
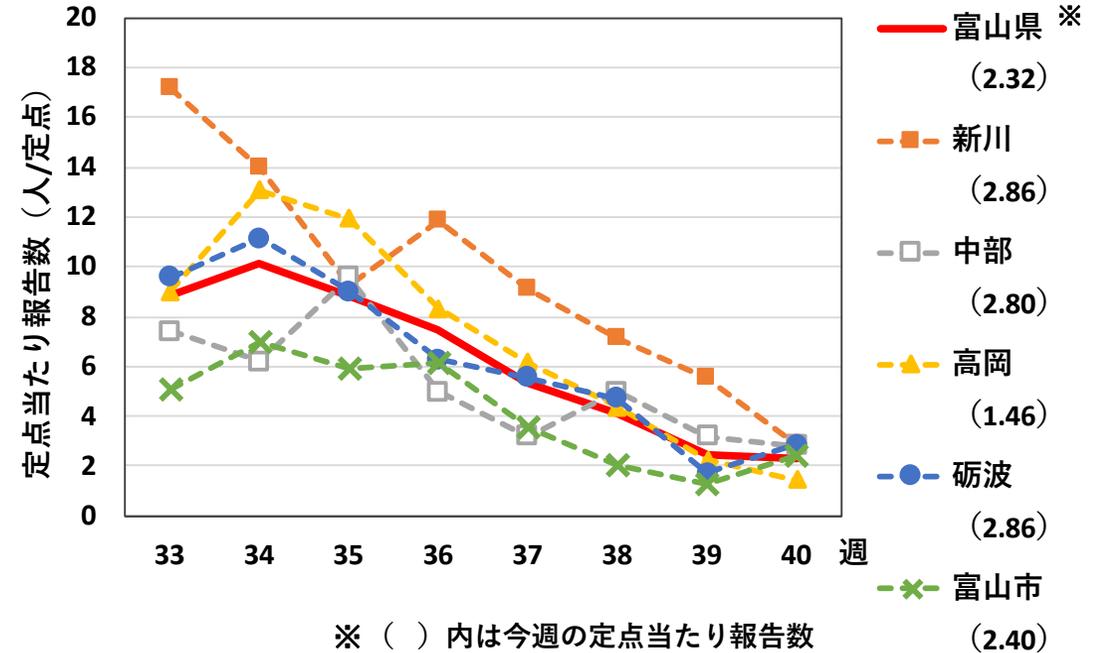


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は2.32人/定点であり、先週（2.44人/定点）から横ばいであった（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、砺波管内、富山市管内では先週から増加し、その他の管内では減少した（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

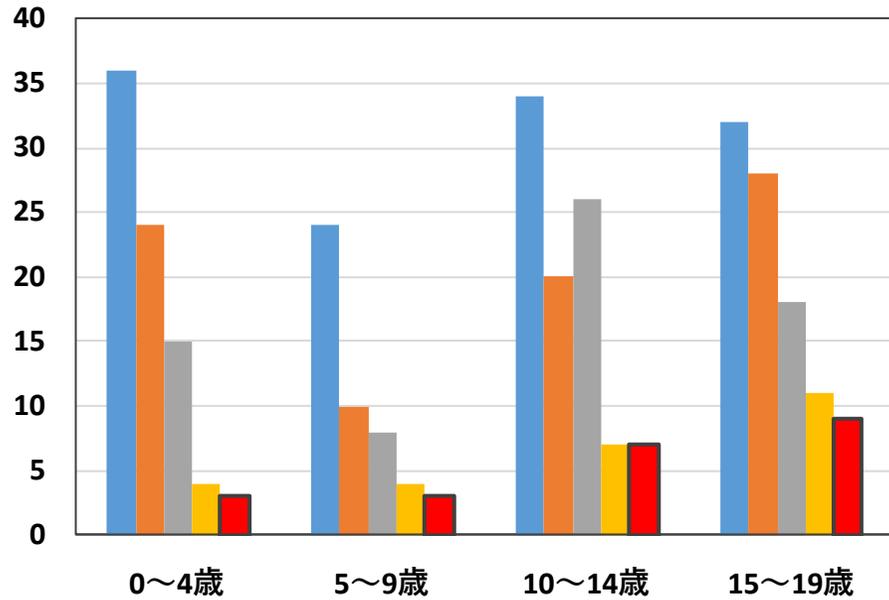
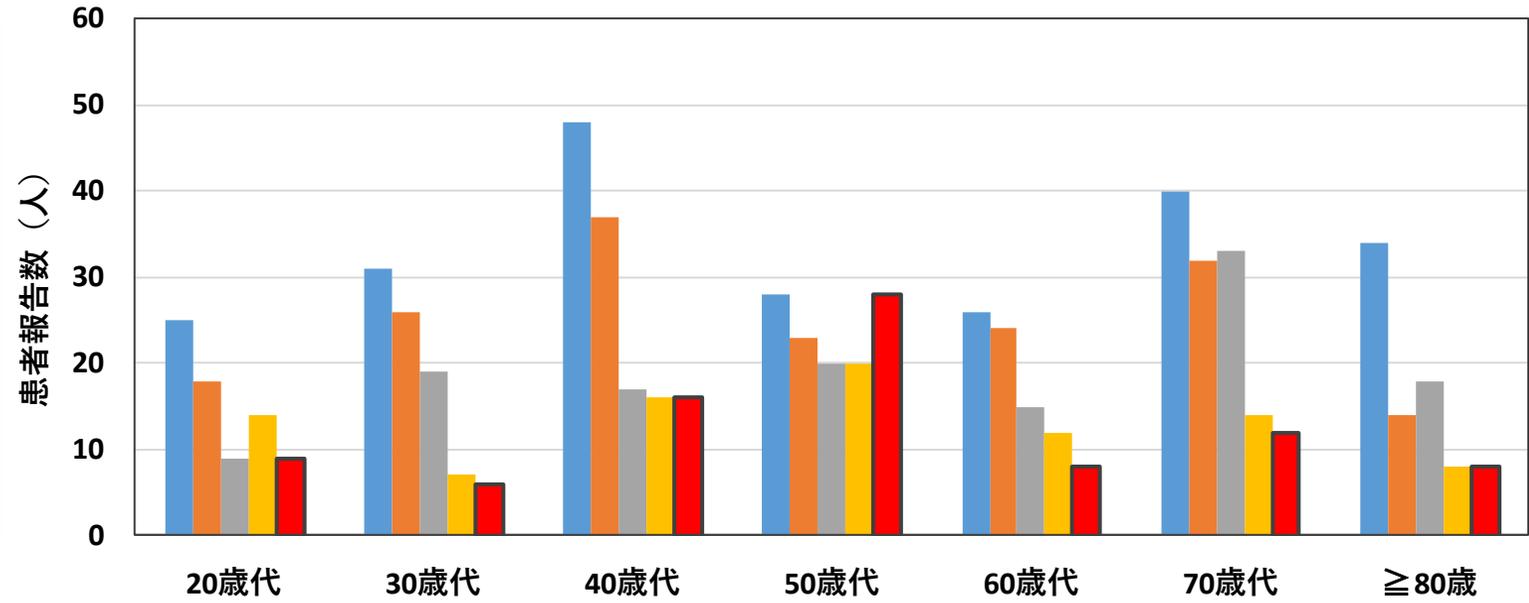


図3-2. ≥20歳



■ 第36週 ■ 第37週 ■ 第38週 ■ 第39週 ■ 第40週

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 50歳代が先週から増加したほかは、すべての年代で減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

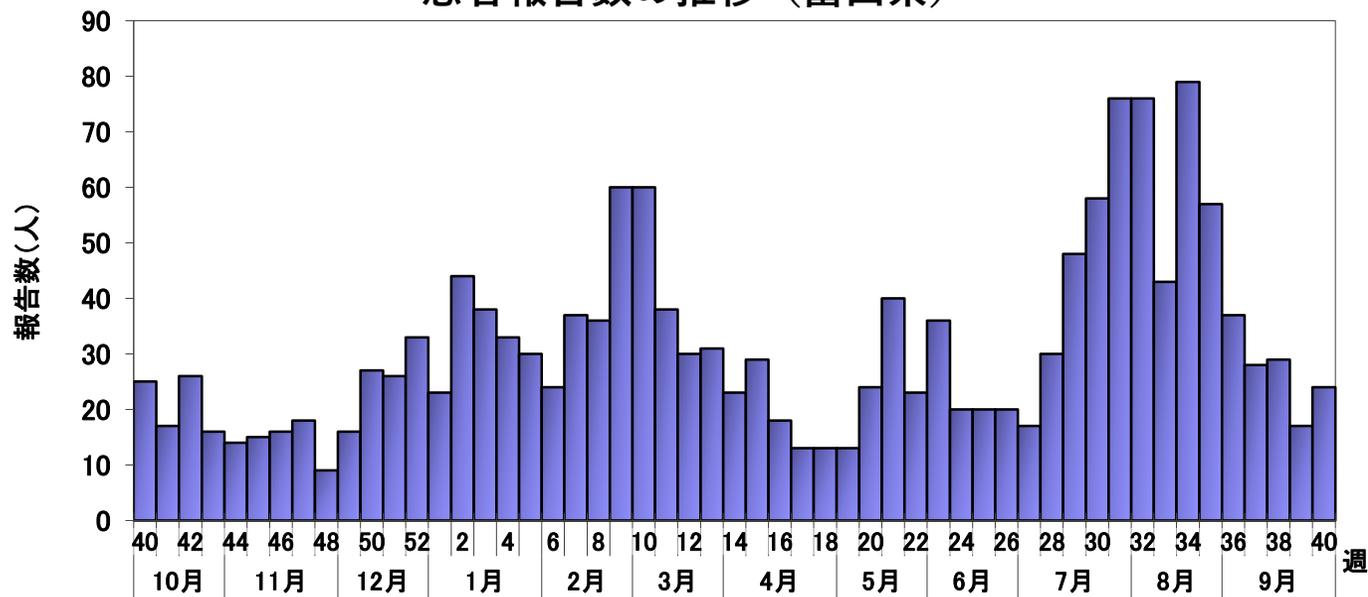
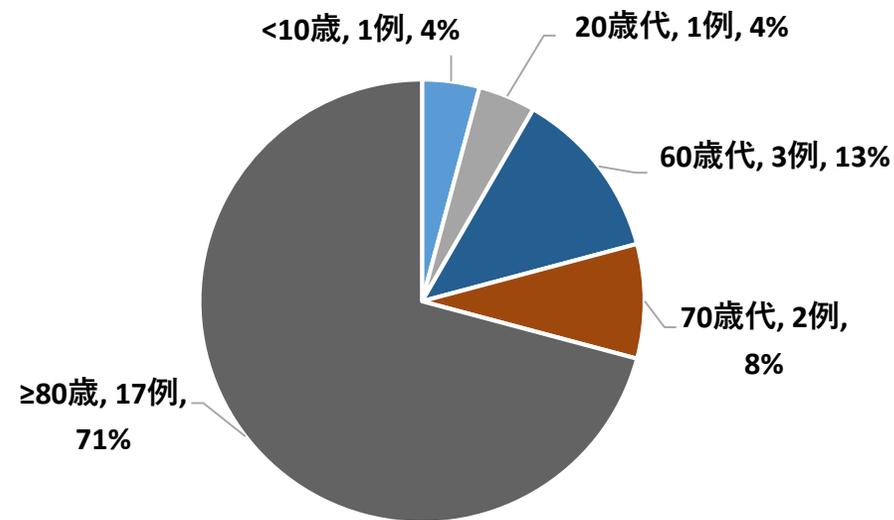


図5. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第40週、24例）



※割合（%）は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第40週に24例の入院報告があり、先週（17例）から増加した（図4）。
- 患者の年代は、10歳未満と20歳代が各1例、60歳代が3例、70歳代が2例、80歳以上が17例で、70歳以上が79%を占めた（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では第35週以降減少が続いていたが、今週は横ばいとなった。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。